

2023年度事業計画

2023年3月
東葉高速鉄道株式会社

当社は、地域に密着し地域と共に歩む鉄道として、開業以来、安全・正確・快適な輸送サービスの提供と健全経営の確立に努め、運転無事故記録を継続してまいりました。

しかしその一方で、経営面においては、依然として多額の有利子負債を抱え、自立経営に向けた不断の努力を強く求められており、さらには、新型コロナウイルス感染症の度重なる感染拡大やお客様の行動様式の変化などによる運輸収入の減少や昨今のエネルギー価格や物価の上昇等の影響を受け、今もなお厳しい経営状況が続いています。

こうした情勢下において、2023年度は、引き続き「第七次経営改善計画」に基づき、鉄道事業者としての最大の使命である輸送の安全確保に最大限努めるとともに、定期外旅客や関連事業収入の需要喚起策及び経費節減策を進め、早期の自立経営の確立を目指して、強固な経営基盤の構築に努めてまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症の輸送面及び経営面への影響については、依然として不透明な状況が続いていることから、引き続き注視してまいります。

以下、2023年度の主な事業を記載します。

1. 輸送の安全確保

鉄道事業者として最大の使命である輸送の安全を確保し開業以来の運転無事故記録を継続すべく、施設の保守管理を的確に実施するとともに、自然災害や犯罪行為への対応も含めた安全・危機管理体制の強化を図ります。

- (1) 切迫する首都直下地震などに備えるため高架橋の耐震補強を推進します
- (2) 大規模台風などに備え、駅舎の外壁修繕や計画運休などハード・ソフト両面の対策を進めます
- (3) 施設・設備を健全に維持するためレール、車両及び電気設備などの点検・整備を定期的に行います
- (4) 激甚化する自然災害や犯罪行為の発生も踏まえて、安全教育、異常時総合訓練を実施し社員の安全意識及び危機管理能力の向上を図ります

2. 良質なサービスの提供

お客様の様々なご意見やご要望を踏まえ、お客様の視点に立った質の高い輸送サービスの提供、快適な駅及び車内環境の整備を進めます。

- (1) 「サービス介助士」の資格取得の推進や社員の接客教育を計画的に進め、どなたにも快適にご利用いただける鉄道を目指します
- (2) 当社公式サイトなどから寄せられる「お客様の声」を反映したサービス改善に努めます

3. 施設・設備の計画的更新

開業から26年経過した施設・設備について健全度を踏まえ計画的に更新を行うとともに、メンテナンスの省力化、安全性の向上を図ります。

- (1) 2024年度末運用開始を目標に列車制御システムを車内信号方式(CS-ATC)に改良します
- (2) 経年により損傷・摩耗が進行した箇所から優先的に、全線のレール交換を計画的に進めます

4. 運輸収入の確保

コロナ禍により影響を受けた旅客需要の喚起を図るため、様々な機会を捉えてお得な期間限定型企画乗車券の販売やイベントなどを実施し、運輸収入の増加に最大限努めるとともに、沿線の魅力や住みやすさの情報発信を行い、沿線への定住促進に貢献します。

- (1) 季節の行楽シーズンを捉えてお得な企画乗車券を販売し、定期外旅客の利用拡大に努めます
- (2) 感染対策に配慮した駅構内等を活用したイベントなどの開催により集客に努めます
- (3) 沿線情報誌の配布やホームページ・Twitterなどを活用し、沿線地域の魅力発信に努めます

5. 関連事業の推進

高架下の新たな区画の貸付や駅広告の利用促進に向けたPR活動などにより関連事業収入の拡大に努めます。

- (1) 耐震補強工事が完了した高架下区画に新規店舗を建設します
- (2) 未利用の高架下区画の新規貸付を推進します
- (3) 従来の駅広告の掲示箇所に拘らず、新たな掲示可能なエリアを提案して駅広告を拡大していきます
- (4) 駅に設置した電動シェアサイクルと沿線拠点との連携を図り、新たな鉄道利用を促進します

6. 財務体質の改善

コロナ禍を踏まえ、固定経費の節減及び設備投資の効率化など機動的な業務運営に最大限の努力を傾注します。また、計画的にキャッシュフローを確保し、着実な債務償還により債務の減少を図るとともに、自然災害、金利変動などの経営上のリスクに備えます。

- (1) 修繕費及びその他経費について、安全輸送に必要な修繕費の確保を前提に、外注業務の削減などを工夫しつつ管理を進めます
- (2) 設備投資の事業執行においては、十分な仕様の検討、施工内容及び工程の精査を行い、コスト削減や契約時の価格交渉に努めるとともに、契約後の工程管理の強化により、各事業の効率化を図ります
- (3) 着実な債務償還及び経営上のリスクに備えるため、所要のキャッシュフローを確保します
- (4) 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構に対する債務について、金利変動リスクの低減を図るため、金融市場の動向を注視し、超長期債による借換え要請を検討します

7. 地域との共生

地元関係者との連携を図りながら、沿線の自然や観光資源を活用したイベント開催などを通じて地域の魅力を積極的に情報発信するとともに、賑わい空間の創出や新たなまちづくりに協力します。

- (1) 感染対策に配慮した「東葉健康ウォーク」「東葉サマーコンサート」「東葉家族車両基地まつり」などのイベントを通じて地域交流を図ります
- (2) 八千代緑が丘駅と京成バラ園を結ぶ「八千代バラ街道」の賑わいの創出に協力します
- (3) 船橋アリーナをホームアリーナとするプロバスケットボールチーム「千葉ジェッツふなばし」への支援に努めます
- (4) 海老川上流地区の新駅設置を含む新たなまちづくりについて、計画的な推進に協力します

損益収支予算

(単位：百万円)

区 分		予算額
経 常 損 益	営業収益	15,471
	旅客運輸収入	14,978
	運輸雑収	493
	営業費用	11,003
	営業費	6,684
	減価償却費	4,319
	営業利益	4,468
	営業外損益	△ 1,014
経常利益		3,454
特別損益		22
法人税等		1,085
法人税等調整額		△ 22
当期純利益		2,413

※記載金額は各項目別に四捨五入して表示

設備投資予算

(単位：百万円)

区 分	予算額	備 考
安全対策	1,932	CS-ATC化等対応車両改造 他
増収対策	41	高架下店舗新設
サービス向上対策	492	P A S M O 関連改修 他
その他	341	海老川新駅設置設計 他
合 計	2,806	